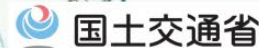


高原町シェアリングエコノミー & デジタルを活用した送迎のイノベーション構想事業(宮崎県高原町)



事業実施主体

【共創プラットフォーム】

高原町シェアリングエコノミー & デジタルを活用した送迎のイノベーション構想事業

【実施主体】 たかはるトランスポーターションコンソーシアム

【共創パートナー】 高原町

株式会社宮崎放送

奥霧島地域商社ツナガルたかはる株式会社

地域課題

- 町民のほとんどは自動車やバイクを利用している。
- 高原町における高齢者の割合は年齢別人口の約42%と高く、今後も更なる高齢化の進行や免許返納者の増加により、自動車で自由に外出できない高齢者が増えることが予想されることから、公共交通の維持や新たな送迎システムの構築が必要である。
- 既存の公共交通路線から離れた地域または交通空白地に居住している町民からは、「停留所以外でも自由に乗降したい」「どこでも乗れて・どこにでも降りられる予約型運行バス(タクシー)」の導入を希望する意見が多い。

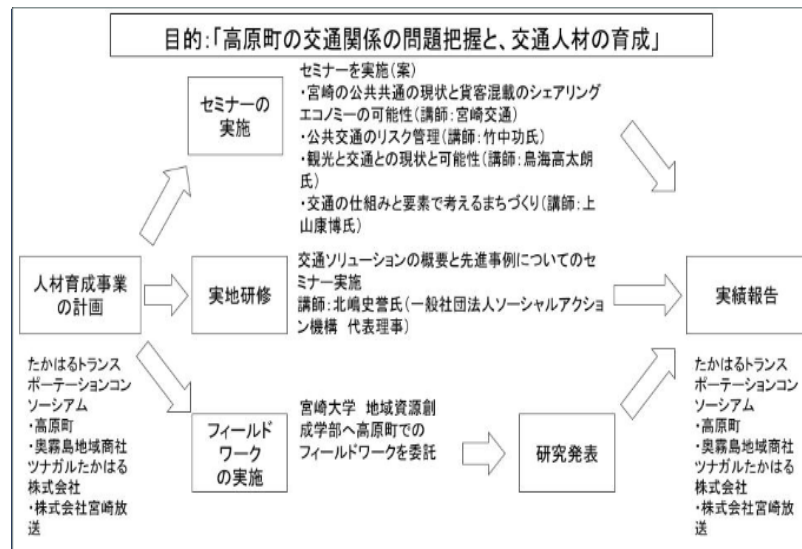
実証事業の内容

- 活動先進地より講師を招聘したセミナーや実地研修などを通じて知識やノウハウを獲得。
- 県内大学生によるフィールドワークの実施・研究発表。

今後の展開

公共交通の維持や新たな送迎システムの構築等高原町に根差した社会課題の解決に繋がるような新たな事業を創出するために議論を繰り返していく予定である。

事業実施地域・手順



事業スケジュール

項目	時期				
	11	12	1	2	3
■補助金交付申請					
■全体企画(講師選定・交渉)					
■宮崎大学とのフィールドワーク					
■講座参加者の募集					
■講座開催(5回程度)					
■実地研修					
■実績報告					